

BPF-136-KIT 2200m 用 BPF + プリアンプの組み立て方法

(有) アイキャスエンタープライズ

Last Updated March 21st, 2012

2200m バンド用バンドパスフィルター (BPF) + プリアンプのキットです。取り付けが難しい部品を使用していないので、簡単に組み立てることができます。

仕 様

受信範囲： 136kHz を中心に IFT のコアで調整が可能です。

受信利得： 0dB ～ 約 13dB 程度 (VRにより可変可能)

動作電圧： DC 12 ～ 14V



組立参考例 (ケース、LED、パススルー用スイッチは付属しません)

パーツリスト

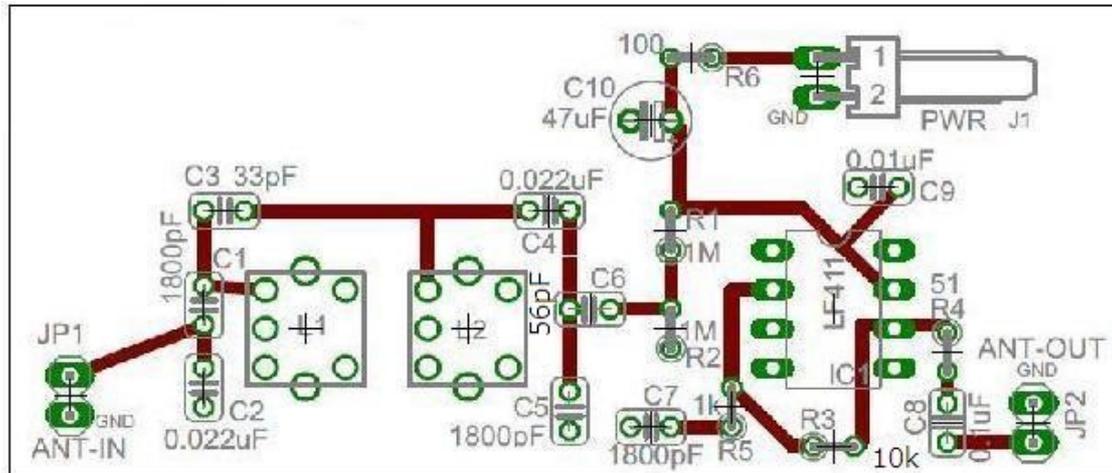
ご注意：

2011年9月13日以前の回路図と部品表では、C4とC5が入れ替わって
おりました。

記号	値	名称	備考
C1	1,800pF	セラミックコンデンサー	1,500pFの場合あり
C2	0.022uF	セラミックコンデンサー	
C3	33pF	セラミックコンデンサー	
C4	0.022uF	セラミックコンデンサー	
C5	1,800pF	セラミックコンデンサー	1,500pFの場合あり
C6	56pF	セラミックコンデンサー	150pFより7/2/11に変更
C7	1,800pF	セラミックコンデンサー	1,500pFの場合あり
C8	0.1uF	セラミックコンデンサー	
C9	0.01uF	セラミックコンデンサー	
C10	47uF	電解コンデンサー	33uF ~ 100uFの任意値
R1	1M Ω	抵抗	
R2	1M Ω	抵抗	
R3	10k Ω	抵抗	付属 25k Ω VRで代替可能
R4	51 Ω	抵抗	
R5	1k	抵抗	
R6	100 Ω	抵抗	
L1		IFT	
L2		IFT	
IC1		LF411 OPアンプ	TL071の場合あり
スイッチ		2Pトグルスイッチ	3Pの場合あり
コネクタ		BNC メスコネクタ 2個	
コネクタ		電源コネクタ メス+オス	2.1 ϕ

本体の組立

回路図に従い組み立てます。回路図は、本マニュアルの一番最後にあります。



ANT-OUT

基板上の [GND] マークが誤っております。上図の [GND] の位置が正しい GND になります。

R3 10k Ω

固定抵抗を取り付けず、替りに付属の 25 Ω ボリュームを接続することにより、ゲインを可変することが可能です。

調整方法

IFTのコアを交互に回しながら、目的信号が最大になるように調整してください。
[ISDR-136-BLT](#) 等の SDR 受信機があると、容易に調整を行うことが可能です。

